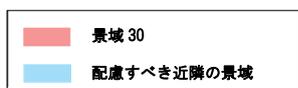
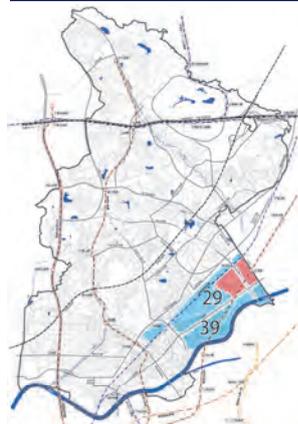


景域 30 岸部南界隈



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

景観特性

落ち着いた住宅地の中にある大学の洗練された美しいまちなみと、駅周辺のにぎわいがある景観

地形

平坦な地形が広がっています。

歴史

大阪学院大学は、昭和 34 年（1959 年）に関西経済学院商業高等学校として現在の地に開校、昭和 38 年（1963 年）に大阪学院大学が開学しました。大学敷地内は緑が豊かで日本造園学会賞を受賞しています。近年では、大阪学院大学高等学校校舎が建設されました。

また、周辺には住宅地が広がり、一部には古くからの集落があります。

土地利用

大阪学院大学のまとまった敷地と住宅地が混在しており、大学周辺はレンガ調に統一された校舎と大学敷地内の緑豊かな高木が調和し、美しく印象的なまちなみが形成されています。また、近年建設された大阪学院大学高等学校校舎は、地域の景観を特徴づけるものとなっています。

岸辺駅の周辺では商業施設が立地し、にぎわいの景観が形成されています。

都市活動・暮らし

駅周辺は地域住民の生活を支える店舗が立地し、にぎわいを生み出しています。大学周辺は秋になると木々が紅葉し、季節を感じることができます。



緑豊かな大阪学院大学



岸辺駅南側の商業施設

大学の緑や街路樹をまもり、活気の中にも落ち着きのある景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 大学内の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、活気の中にも落ち着きのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- JR東海道本線や阪急京都線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 29, 39, 45